

## 「恵楓園で見た厚くて高い壁」

私たち菊鹿中学校の生徒会執行部は、ハンセン病について学習するため菊池恵楓園を訪問しました。私は、今回初めて恵楓園を訪問して、コンクリートの壁を見たことが心に残っています。

あの厚く高い壁の中からは、外の景色など見ることはできません。中に入ったら、もう一生、外へ出ることはできなかったのです。家族とももう会うことができません。そう思うと、私は悲しくて仕方ありません。

しかし、そのような中でも、やはり家族が心の支えだったそうです。会うことはできなくても、毎日のように手紙を書いてやりとりしていたと聞きました。どんな状況であっても、それまでずっとそばにいてくれた家族は、とても大切な存在だったんだなと思いました。

このような隔離政策によって偏見が生まれたんだと思います。そして、たくさんの人々が家族と離れてしまったり、差別を受けたりして、苦しい思いをされてきました。このような事実は起きてしまったことで、もとに戻すことはできません。

だから、私たちがハンセン病のことを知った一人として、二度とあってはならないと伝えていかなければならないと思いました。